

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320257	X-21-B-3-320257	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	4年
韓国語 7a	申 銀珠			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

韓国の新聞社説や論文、エッセーなどを教材として、その読解を正確に行うとともに、それぞれの背景としての基礎知識を学習し、単なる言葉の翻訳にとどまらないようにつとめる。後半は受講学生の卒業論文の一部を韓国語で発表してもらう。プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートなどを韓国語で行い、韓国語の表現能力の向上を目的とする。

各回の授業内容

第1回 【授】 ガイダンス 【前・後】 予習・復習各1時間	第9回 【授】 演習(8) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第2回 【授】 演習(1) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第10回 【授】 演習(9) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第3回 【授】 演習(2) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第11回 【授】 演習(10) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第4回 【授】 演習(3) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第12回 【授】 演習(11) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第5回 【授】 演習(4) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第13回 【授】 演習(12) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第6回 【授】 演習(5) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第14回 【授】 演習(13) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第7回 【授】 演習(6) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第15回 【授】 演習(14) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)
第8回 【授】 演習(7) 【前・後】 授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。(予習・復習各1時間)	第16回 【授】 まとめ 【前・後】 予習・復習各1時間

成績評価方法

授業内レポート50%、授業外レポート40%、授業態度10%で総合的に評価する。プレゼンテーションを重視する。授業中に発表した課題は、授業中に評価し、解説する。小テストや宿題は確認後に次回授業時に返却するので、復習に活用すること。

教科書・参考書

新聞記事、論説、エッセー、演説文など
プリントを配布

受講に当たっての留意事項

特別な事情がない限り、欠席しないこと。教材中に不明な語句、とくに時事用語などがある場合は必ず調べてから発表すること。背景説明も必ず韓国語で行うこと。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	専門の通訳、翻訳の経験を生かした授業。	○

学習到達目標

実用的な語学力を養成し、卒業論文に使用する韓国語文献を熟読できるなどの効果を期待している。韓国語の書き言葉と話し言葉の特徴が理解でき、使い分けができる。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習